

2024 4 が つ

鷹栖町図書室に新しく入った本

(3月分より)

たかす(一般)

『め生える』(高瀬隼子/U-NEXT)
『風に立つ』(柚木裕子/中央公論新社)

『静かに生きて考える』(森博嗣/ベストセラーズ)
『望月の鳥』(阿部智里/文藝春秋)
『タスマニア』(パオロ・ジョルダノ/早川書房)
『王朝和歌、こんなに面白い』(中原文夫/作品社)
『暗号資産をやさしく教えてくれる本』(松島真倫/あさ出版)
『丸わかり実家じまい』(永野彰一/みらいパブリッシング)
『みなさんのおかげです』(木梨憲武/小学館)

たかす(児童)

『海辺の村のパン屋』(ポーラ・ホワイト/BL出版)
『ひげがながすぎるねこ』(北澤平祐/講談社)

『ぶたくんのとどかないとどかない』(ふくだじゅんこ/大日本図書)
『あわてんぼうのダックスくん』(いとうみき/童心社)
『アフェリア国とメイドと最高のウソ』(ジェラルディン・マコックラン/小学館)
『世界の不思議と謎について知っておくべき100のこと』(アリス・ジェームズ/小学館)

きたの(一般)

『ジェンダー・クライム』(天童荒太/文藝春秋)
『有罪、とAIは告げた』(中山七里/小学館)

『マーリ・アルメイダの七つの月』(シエハン・カルナティラカ/河出書房新社)
『4大デッキで紐解くタロットリーディング事典』(片岡れいこ/メイツユニバーサルコンテンツ)
『子どもの心を情緒豊かに育むフェルトで作る知育おもちゃ』(アップルミンツ)
『地下鉄で隣に黒人が座ったら』(イエロン/かもがわ出版)
『磯田道史と日本史を語ろう』(磯田道史/文藝春秋)

きたの(児童)

『ゆきがどっさりつもったよ』(サラ・ジャコビー/化学同人)
『ミライチョコレート』(ザ・キャビンカンパニー/白身)

『マリはすてきじゃない魔女』(柚木麻子/エトセトラブックス)
『人類の夢をかなえた飛行機の本』(ヒサクニヒコ/子どもの未来社)
『数学の苦手が好きに変わるとき』(芳沢光雄/筑摩書房)

☆新しく入った本は他にもございます。図書室では新着図書のリストを配布しております。また、鷹栖町図書室の蔵書検索から探すこともできます。



『口の立つやつが勝つてことでもいいのか』(頭木弘樹/青土社)
『枯葉剤の傷跡をみつめて』(坂田雅子/花伝社)
『ガザとは何か』(岡真理/大和書房)
『一瞬で数字をつかむ!「概算・暗算」トレーニング』(堀口智之/ペレ出版)
『人類学と骨』(楊海英/岩波書店)
『明治六大巡幸』(奥武則/中央公論新社)
『SNSサポート副業』(土岐あい/大和出版)

『いっぱいもうと』(ロッカクアヤコ/福音館書店)
『ムムさんのまほうのケーキヤさん』(コンドウアキ/マイクロマガジン社)
『しょうがくいちねんせいのいちにち』(つばいじゅり/教育画劇)
『わたしたちの帽子』(高楼方子/フレーベル館)
『目標を達成するための時間管理が身につく』(すわべしんいち/repicbook)
『エグい星ずかん』(渡部潤一/すばる舎)

『ブラック・ショーマンと覚醒する女たち』(東野圭吾/光文社)
『人生に効く寓話』(池上彰、佐藤優/中央公論新社)
『川柳入門表現のコツ50』(杉山昌善/メイツユニバーサルコンテンツ)
『みんなのネガティブ感情のおてあて』(井上智介/ライフサイエンス出版)
『尿トラブルに悩まない!』(櫻井夏子/内外出版社)
『藤原道長と紫式部「貴族道」と「女房」の平安王朝』(関幸彦/朝日新聞出版)

『ようかいむらのだいすきバレンタイン』(たかいよしかず/国土社)
『まんまるまんまといがいがい』(久住卓也/童心社)
『ビジュアル図鑑ドラゴン』(建部伸明/カンゼン)
『こども話し方教室』(バウンド/カンゼン)

ほか

～鷹栖町図書室の本はふるさとまちづくり応援寄附事業の寄附金を活用して購入しています～



図書室だより



3月19日(火)～4月18日(木)まで『13年目の3.11』の展示を行っています。東日本大震災から13年。多くの人が犠牲になり、多くの教訓を生んだ震災。11人の作家さんがそれぞれの思い込めた作品やメッセージを展示しています。ぜひ、ご覧ください。



3月の本棚リレーは
平林 純子さん



「音楽のある図書室は
松下元気さんの
ギターの弾き語り